

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

学童デイサービスよつば

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数が多い場合は、別室対応出来る等環境に配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			理学療法士や保育士、調理師等の資格を持った職員が在籍している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		保護者様のご協力を得てその子にあった福祉器具を用いて支援、介助をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			改善点等があれば、その都度ミーティングをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを通して保護者様のご意見や要望等を最大限に業務に反映できるよう工夫している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	内部評価は行っているが、外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			セミナーや研修を通して、知識や技術の研鑽をしている。事務所内でも月 1 回以上の研修の場を設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間でのカンファレンスを元に保護者様とのモニタリングを実施し、アセスメントに努め、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月一回話し合い、職員間で各担当を設け決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			専門職が多く在籍しているため、互い専門制を活かし、活動のバリエーションを多くしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日、長期休暇では朝から児童の支援を行う事が出来るので、平日よりも長く児童に寄り添い、外出活動等多く取り入れている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員全員での多角的視点から、意見を反映させている。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前中の時間や送迎前に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日の朝礼等で職員全員と話し合っている。又、休みの職員に対しても情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			常に職員間で些細なことでも話し合い、記録として残している。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者様とも面談を行い、継続する目標は継続し、改善すべき所は改善すべき案として考慮している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者や児発管だけではなく、多職種の職員も積極的に参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			適宜、学校との連携を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアを必要とする児童はいませんが、受け入れの際は体制を整えて行う予定である。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			受け入れの際には事前に連絡を行い、情報提供していただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、学校に在籍する子ばかりの為まだ行ってはいませんが、卒業生が出る場合は行いたいと思う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			当事業所は学童の児童も在籍しているので、交流する機会が多い。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		今後はより積極的に参加機会を増やしていく。

の連携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や日々の連絡帳などで伝え合っている。また定期的なモニタリングを行っている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要とされた際には、適宜相談や助言を行っている。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			不明な点があれば電話や対面での説明を随時受け付け対応している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要とされた際には、適宜相談や助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		茶話会などを設けていたが、新型コロナウイルスの影響を受けて開催の自粛をしていた。今後開催する予定。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は、真摯に受け止め業務改善と共に迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にInstagramを更新し、情報を発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ハロウィン等のイベント、行事毎に地域住民との交流を深めている。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			担当を決め職員間で共有している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回は必ず実施している。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を内外で受けている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を必要とする場合等は、児童に危険がある場合に限り行うと保護者には契約の際お伝えしている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある児童に対しては、アレルギー除去又は、代用できる食品で対応している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員間で共有し、再発防止に努めている。